

PRESS RELEASE

2014年9月18日

パリ-PSA 本社



「パリ・モーターショー」における DS ブランドの未来

パリ生まれのフランスのブランド「DS」は、開会を数週間後に控えた国際的自動車見本市「パリ・モーターショー」において、誇り高く、最初のステップを踏み出します。昨年6月よりシトロエンから独立したブランドとして生まれ変わったDSは、この世界的なショーケースの機会に、野心的な目標を掲げました。それは、フランス発のプレミアム・カー・ブランドとして、その存在感を世界中に知らしめることです。



今回、パリにおいてDSは、ブランドの未来への軌跡を描き出す2台のコンセプトカーと、ふたつのニューモデルを発表します。コンセプトカーは「DIVINE DS(ディヴィーンDS)」、そして「DS 3 INES DE LA FRESSANGE PARIS CONCEPT(イネス・ドゥ・ラ・フレサンジュ パリ コンセプト)」を発表。さらにDS 3とDS3 CABRIOにはフェイスリフトモデルとして新しいLEDライト・シグネチャがデザインされ、最新のオンライン接続サービスも付帯されています。

開会が数週間後に迫ったパリ・モーターショーは、DSブランドが新たなスタートラインに立ったことを、一般に広く知らしめる絶好の機会です。DSが常に追求するものは、DSならではの独自のスタイル、隅々まで洗練されたディテール、高貴な素材と先進的テクノロジーです。DSはこれらの点で唯一無二の際立ったクルマを提案します。この命題に対し、パリサロンでのDSブースにおける主役は、今月末にプレス向けにお披露目される2台のコンセプトカーです。

— DIVINE DS(ディヴィーンDS)

まさにDSブランドのエッセンスとその未来を凝縮したマニフェストを表現しているDIVINE DS。その内容の特徴づけるのは4ドア・コンパクトのシルエットです。それは力強く、高級感があり、大胆で独特のグラフィックで構成されたスタイルを備えています。そのエクステリア・スタイル以上に、DIVINE DSは従来まったく見られなかった新しいインテリアをも提案します。それはDSの独創と洗練のコンビネーションを見事に体現したものです。このコンセプトカーのために、DSのデザイン・チームは『Hypertypage(イペールティパーージュ)』というコンセプトの初採用へ踏み切りました。これは3つの世界観の異なるインテリアを、それぞれ組み合わせるセンセーショナルな手法で独自の個性を与えられた世界観を表現したものです。このコンセプトは消費者の個性をクルマとして表現し提供するものでもあります。

—DS 3 INES DE LA FRESSANGE PARIS CONCEPT(イネス・ドゥ・ラ・フレサンジュ パリ コンセプト)

DSデザイン・センターとINES DE LA FRESSANGE PARISのコラボから生まれた、優雅で、ハイセンスで、モダンなクルマ。このコンセプトカーは、シックかつ、時に斬新で独立心に満ちた一人のパリジェンヌのために練り上げられたスタイルを提案するものです。サテン地のインクブルーのローブに身を包み、輝くオニキスブラックのルーフ、そしてダイヤモンドコーティングを施した乳白色の17インチ・ホイールが装備されます。

PRESS RELEASE



新しくフェイスリフトされたLEDライト・シグネチャを具体化するためのスタディとして創られたこのクルマは、他にも、Rouge Ines(ルージュ・イネス)色のドアミラー・カバーや、リア部を彩るトリコロールの唐草文様といった、数々のパーソナライズ・エレメントによって独特の外観を醸し出します。それだけにとどまらずインテリアも、ホワイト・ステッチの施されたグラニテ・ブルーのグレインレザー・シート、あるいはRouge Ines色のダッシュボードによって、より一層際立った仕上がりを見せます。DS 3 INES DE LA FRESSANGE PARIS CONCEPTはパリ風のシックと、DS 3のパーソナライズの可能性をあますことなく体現する、きわめてスタイリッシュなコンセプトカーです。

DSの未来を象徴する、これら2台のコンセプトカーを通じて、来場者はDSブランドの世界を直ちに体感し、その最新コンセプトやニューモデルを発見し、さらにその成功の源となったクルマを再発見していただけます。

パリ・モーターショーは、2014年10月4日より一般公開されます。DSブースはパビリオン1、C320にて展開します。